

(別添様式2)

県ホームページ掲載用

## 平成26年度「人権フォーラム（放課後子ども教室）事業」取組の概要

市町村名	学校名等
檀原市	檀原市立畝傍中学校

### ① 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

さまざまな活動を通して、自分たちの生活や学習、人権について見つめ考える。

### ② 特徴的な取組の概要

#### 《放課後子ども教室》

放課後、また土曜日、長期休暇中に、自分で学習することが困難な生徒、低学力傾向の生徒を対象として、勉強会を開いている。一回の勉強会につき、多いときで15名程度、少ないときで1～2名の生徒が勉強をしている。時間は1時間から3時間のときもある。勉強会では、1人の教師あるいは学習アドバイザーに対して3名程度の生徒で取り組んでいる。今年の生徒たちは、積極的にこの場を利用しようとしている。そのことは、人数増加からもわかる。



また、去年の生徒の中には、勉強会に来てもなかなか勉強が手に着かない者もいたが、今年は学習会に参加する生徒の中で、勉強せず他のことをしている生徒はまったくいない。このことから、子どもたちにとってこの学習会が大切な勉強をする機会と場として定着していることもわかる。

#### 《車いすバスケット体験学習》

根木慎志さんをお招きし、障害者の社会参加、差別や偏見の現実等のお話を伺った。また、支え合うことの大切さを学び、車いすバスケットの体験をさせていただいた。



#### 《ボランティア活動》

学校内にあるスロープの修復作業をおこなった。車いす生活されている藤本隆二さん弘子さんご夫妻の話や根木さんの話を聞き、障害者が暮らしやすい環境は、自分たちにも暮らしやすいことであることを確認し活動した。